

「2021 年度入試以降の大学入学者選抜における基本方針」について

岐阜聖徳学園大学

岐阜聖徳学園大学短期大学部

本学では、高大接続改革の趣旨をふまえて 2021 年度入試以降の大学入学者選抜において、以下のとおり「大学入学者選抜における基本方針」を定めました。今後は、この方針に基づいて、入試の詳細な選抜方法等を策定し公表します。

1. 入試区分の変更について

入試区分を以下の通り変更します。

現行		2021 年度入試以降
入試区分	入試名称	入試区分
AO入試	Yawaragi 入試	総合型選抜
推薦入試	自己推薦入試	総合型選抜
	指定校制推薦入試	学校推薦型選抜
	系列校特別推薦入試	
	課外活動特別推薦入試	
	専門学科・総合学科推薦入試	
高校推薦入試		
一般入試	一般入試	一般選抜
	一般入試（センタープラス）	
	大学入試センター試験利用入試	

2. 大学入学共通テストの利用について

現行の「大学入試センター試験」を利用した入試（センター利用、センタープラス方式）は、「大学入学共通テスト」を利用した選抜となります。なお、『国語』および『数学Ⅰ』は、マーク式問題に加え、記述式問題も活用します。

国語	記述式問題の段階別評価を点数化し、マーク式問題の得点に加算して活用
数学Ⅰ	記述式問題の得点をマーク式問題の得点に加算して活用

3. 英語の4技能評価について

英語の4技能を評価するために、現在実施している「英語の資格・検定試験の活用（加点方式・みなし得点方式）」を一般選抜で継続して実施します。なお、資格・検定試験は出願要件ではないので、資格・検定試験を受験していない場合も出願できます。

4. 学力の3要素の評価について

(1) 学校推薦型選抜、総合型選抜

現在実施しているAO入試、推薦入試と同様に学力の3要素を評価します。

(2) 一般選抜

「知識・技能」の評価に加え「思考力・判断力・表現力」を評価するため、現在もすでに記述式問題を出題していますが、さらに出題の工夫に努めます。また「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するために、調査書やeポートフォリオ等を活用します。